

5番 山田伸幸議員

- 1 社会保障関連の市民負担軽減策について
 - (1) 国民健康保険料負担軽減の実施状況
 - (2) 資格証明書の対象者数推移と無保険者の把握状況
 - (3) 介護保険料の市民負担軽減策実施の考え方
 - (4) 介護サービス利用料の軽減の考え方
- 2 児童登校路の安全対策について
 - (1) 市内全域の登校路調査の実施状況
 - (2) 危険な登校路への対策
- 3 自然エネルギー活用と地域の雇用について
 - (1) 自然エネルギーの地産地消への取り組みの考え方
 - (2) 雇用への波及効果があるか。

6番 河野朋子議員

- 1 事業評価について
 - (1) 現在の評価システムの問題点について
 - ア 目標の設定や成果指標、達成率などに問題はないか。
 - イ 市民への公表はどうするのか。
 - (2) 現在の評価システムを今後どのように改善していくのか。
- 2 給食センター建設について
 - (1) 基本計画について
 - ア 方針を修正した理由
 - イ 今後の予定
 - (2) 米飯委託について
 - ア 現在の契約形態
 - イ 委託方式を続ける理由

7番 石田清廉議員

- 1 市の業務委託における契約制度の基本方針について現状と課題について問う。
 - (1) 総合評価入札制度において価格評価、技術的評価、公共性評価（福祉、環境、災害時の業務体制）などの評価項目はあるのか。
 - (2) 最低制限価格制度の業務委託における予定価格算定は、明確な算定基準に基づいたものか。
 - (3) 低入札価格調査制度において、業務の質の確保や当該業務で働く労働者の労働条件など考慮されたものなのか。

- (4) 長期継続契約は多くは事務用機器、計測機器、輸送用機器、物品の保守点検、維持管理などだが、複数年度を視野に入れた契約の取り組みがされているか。
 - (5) 総務事務アウトソーシングは課ごとの独立性が強い庁内体制では事業者が各課ごとの調整をしなければならない状況と考えるが、部局横断的な意思決定ができる体制はあるのか。
 - (6) 行政の業務を民間委託する意義と目的は行財政の効率化・スリム化を図り市民への行政サービス向上を目指すための施策であり有効と考えるが、安価な労働力の差しかえになってはいないか。
- 2 埴生地区小・中施設一体校建設事業はさらに計画の見直しがされているのか進捗状況を問う。
- (1) 地域住民・保護者などへの計画の説明が不十分とのことで計画の白紙撤回、再検討を求める請願書が提出され、継続審議になっているが、一体校事業について今後の方針を問う。
 - (2) 教育施設の建設計画はまちづくりの大きな核となり、さらに子供たちにとっても教育環境の改善は重要かつ緊急性のあるものだ。この事業が遅延あるいは廃案になるようなことがあってはならないと考える。それには地域住民に対して説明責任が果たせるよう、確信を持って事業計画の推進を図るべきではないか。

8番 松尾数則 議員

1 自殺対策について

- (1) 自殺をする原因の把握は十分にできているか。
- (2) ゲートキーパーの役割とその活動について聞く。
- (3) 心の病気に対する市民病院の対応はどうなっているか。
- (4) 子供を含む学校関係者の対応はどうなっているか。
- (5) 自殺予防デーに向けてどのような活動を行うのか。

2 入札制度について

- (1) 市民病院建設にあたり、発注はDB方式で、選定は地元企業活用を重点評価項目とする総合評価落札方式を用いた一般競争入札により行うようであるが、そのメリット、デメリットは何か。
- (2) 競争入札参加資格について